

心理学領域 ステージ制

ポイント		1	2	3	4	5	6	7	8	9
教育ステージ	プレゼン（別に指定する報告会。1Pまで）	認定試験・必修Ⅱ (2022年9月以降受験)	認定試験・必修Ⅰ							
	TA (2Pまで)									
	非常勤講師									
	認定試験・必修Ⅱ (2022年8月以前受験)		認定試験・必修Ⅰ、必修Ⅱ、選択必修を合わせて6P以上							
	認定試験・選択必修									
研究ステージ	国内学会発表（3Pまで）	人間文化創成科学論叢	協力学術研究団体*が発行する雑誌の査読付日本語論文 (例: 心理学研究 等)	協力学術研究団体*が発行する雑誌の査読付英語論文 (例: Journal of Information and Systems in Education; Educational Technology Research 等)	SCI, SSCI, SCIE**のいずれかに該当する一般的水準の雑誌の査読付論文 (例: Japanese Psychological Research; Perception; Vision Research; Journal of Applied Social Psychology; Research in Developmental Disabilities; PLOS ONE; Scientific Reports 等)	SCI, SSCI, SCIE**のいずれかに該当する高水準の雑誌の査読付論文 (例: Journal of Experimental Psychology; Journal of Personality and Social Psychology; Journal of Personality; Cognition; Child Development; Developmental Science; Journal of Consulting and Clinical Psychology 等)		SCI, SSCI, SCIE**のいずれかに該当する最高水準の雑誌の査読付論文 (例: Nature; Science 等)		
	紀要	協力学術研究団体*でない団体が発行する雑誌の査読付論文		SCI, SSCI, SCIE**に該当しない雑誌の査読付英語論文						
		海外学会発表								
	合わせて6Pまで									

- 備考**
- 単位取得退学後3年間及び休学期間については、研究ポイント、教育ポイントともに認める。
 - 研究ステージ、教育ステージともに、それぞれ9点以上を獲得すること。
 - 教育ステージについては、大学院前期課程在籍中(本学および他大学)における活動、業績を認めることがある。
 - 研究ステージについては、本学大学院後期課程入学前5年間の活動、業績を認めることがある。
 - ステージ制認定試験については、各科目の試験合格後12年間を有効期限とする。
 - ステージ制認定試験の内容等については別に定める。
(2015年度生より適用)
 - 3Pの査読論文が1本（日本語）の場合は、人間文化創成科学論叢に1本以上の公刊があることを必要とする。
 - 査読論文が1本の場合、予備審査を実施する場合がある。
(2020年度生以降および2019年度在学生ならびに卒後3年以内の満期退学者に適用)
 - SCI等に該当する雑誌に掲載された査読付論文の申請ポイントは、雑誌の水準に関する審査に基づき5-9点の間で加減されて認定されることがある。
(2023年度以降の在学生および卒後3年以内の満期退学者に適用)
 - 研究ステージポイントは、申請者が筆頭著者・筆頭発表者である業績にのみ認定される。

* 日本学術会議協力学術研究団体の略称。該当する学会については日本学術会議ウェブサイト参照
(<https://www.scj.go.jp/ja/group/dantai/>)。

** Science Citation Index (SCI), Social Sciences Citation Index (SSCI), Science Citation Index Expanded (SCIE) にどの雑誌が該当するかについては、Master Journal Listを参照 (<https://mjl.clarivate.com/search-results>)。